

循環型社会 を目指せ!

PRIVATE

循環型社会を目指す上で必要なのがリデュース（減量）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）です。この3つの言葉の頭文字から「3R」と呼びます。

リサイクルはよく耳にしますが、他の2つは聞きなれませんが、そこで、先月に引き続き、大量消費から良いものを長く使うために私達ができることを「3R」を中心にまとめてみました。先月の内容と多少重なるところもありますが、実践してみてください。

リデュース（減量）

【買い物をする際に、ゴミを出さないように買いましょう。】

【本場に必要なものか？】

文房具などは家に使いかけのものがなにかチェックする。食べ物を買う場合も、きちんと使いきれ分量だけ買いましょう。安いからといって買いつぎると、結局腐らせてゴミになってしまいます。

【過剰な包装は断る】

包装は家に持ち帰った後はすべてごみになります。プレゼントでなければ簡単な包装で充分。また、日ごろから買い物袋を持ち歩けば

レジの袋も使わずにすみます。

【詰め替え可能な商品を選ぶ】

シャンプーなどで中身が詰め替えられる製品を選べば、容器は無駄になりません。

【長持ちするものを選ぶ】

買う際になるべく長持ちしそうなものを選ぶようにしましょう。また、調子が悪くなつたときのメンテナンスサービスがあるものだと容易に修理して直して使えます。

リユース（再利用）

一度使ったものでも、きれいに洗えば再び利用できるものがあります。

【リターナブルのものを選ぶ】

リターナブルとは、回収・再利用できるという意味です。ペットボトルや缶ジュースなどは、一度使うとそのままでは再利用できず、資源ごみとして使われます。このようなものをワンウエーボトルといいますが、それに対してビール瓶や牛乳瓶、お酒の1升瓶などは、一度使用したものを回収し、きれいに洗って再使用します。これがリターナブル瓶です。中身が同じならばリターナブルのものを選べたいですね。

【リサイクルショップなどを使用する】

不必要になつたものは捨てずに、知り合いに譲ったり、リサイクルショップなどを通じて必要な人に譲りましょう。

ポイントは、なるべく使い捨てにならない方法を考えることです。ラップの代わりにレンジ対応の密閉容器を使ったり、ティッシュの代わりにタオルを使ったりという工夫できます。

リサイクル（再資源化）

どうしても出てしまうゴミについては、リサイクルするように心がけましょう。そのためにはきちんと分別することが大切です。ペットボトルやアルミ缶、スチール缶、紙製品など、製品にはさまざまな識別マークがつけられています。正しく分別して各地方自治体のルールに沿って正しく出しましょう。リサイクルには2種類あります。使い終わった製品を新しい製品の原材料として使う「マテリアルリサイクル」と、燃やした際に出る熱をエネルギーとして利用する「サーマルリサイクル」です。例えば紙ゴミの場合、分別して回収すれば

ば古紙として、再び紙に生まれ変わることができず、燃やされたゴミとして出すと、燃やされてエネルギーとして回収することしかできません。

ゴミを減らしてもどうしても残ってしまうのが生ゴミです。そんな生ゴミも、生ゴミ処理機を使えば、ガーデニングのため有機肥料にすることができ、その肥料で家庭菜園などを作れば、買い物も減らすことができるでしょう。

最後に

豊かな社会といわれるなかで、私達はまだまだ十分使えるものをゴミとして出して新しいものを買って求めるといったことを繰り返してきまされた。かつては故障したら修理して使うのが常識でした。しかし現在では修理するよりも新しいものを買って替えた方が、手軽で安くすむという状況です。その結果ゴミの量は年間で4、5億トンにもなるそうです。3Rをみんなで取り組んで、地球資源を大切にしましょう。もちろん「のっぽ」でも、長く使えるものを提供しつづけていきます。